



八月二十三日、待ちにまつたサマーレクリエーションにケアリングクラウンが来園しました。ケアリングクラウンは病院や福祉施設・幼稚園・小学校などで心のケアをしながらみんなが楽しく幸福に暮らせるケアリングコミュニティ作りを目指として活動しているグループです。ケアリングクラウンはビエロの格好で音楽に合わせてバルーンアートで人を楽したり楽しませてくれます。そんなビエロが若草園にやってきました！初めての試みという事もあり、職員も

園児らも期待で胸がいっぱいでした。ビエロのお出迎えに嬉しそうに握手をしたりハイタッチをして余裕を見せたり、初めて見るビエロにして泣く園児もいました。でもバフォーマンスが始まるとすぐに手拍子をして声をあげて喜ぶ場面も見られました。音楽に合わせて巨大的な風船が園児らの頭の上を飛び交



園児らも期待で胸がいっぱいでした。ビエロの格好で音楽に合わせて人を楽したり楽しませてくれます。そんなビエロが若草園にやってきました！初めての試みという事もあり、職員も

## お月見会 「ヴィオラコンサート」



普段はちょっぴり恥ずかしがり屋の園児らもビエロの魔法にすっかり魅されて楽しい時間を過ごす事ができました。

最後にビエロからバルーンアートのプレゼントをたくさんもらひ病棟中がバルーンアートで華やかになりました。

演奏を聴くのは、5回目でしたが、ヴィオラの音の美しさに利用者のみなさんはすぐに引き込まれていきました。曲目も秋にちなんだ、「もみじ」、「小さい秋みつけた」や、よく知っている、「さんぽ」、「上を向いて歩こう」など

の親しみやすい曲ばかりで、音楽に合わせて手や体を動かしたり、声をだしてみたり、うつとりと聴いている人がいたりと一人ひとり、楽しんでおられました。また演奏の途中でカーブの応援歌を全員で熱唱し、カーブクライマックスシリーズ進出に向けてエールを送るなど、若草療育園ディルームが大盛り上がりしました。

ディルームでのコンサートが終了後には、「ディルームに行けなかつた利用者のため、各居室で演奏をしてもらい、ベットサイドで素敵な音楽を聞くことができました。

こんな素敵なお月見会

演奏を聴くのは、5回目でしたが、

ヴィオラの音の美しさに利用者のみなさ

んはすぐに引き込まれていきました。曲

目も秋にちなんだ、「もみじ」、「小

さい秋みつけた」や、よく知つ

いる、「さんぽ」、「上を向いて歩こう」など

の親しみやすい曲ばかりで、音楽に合

せて手や体を動かしたり、声をだしてみ

たり、うつとりと聴いている人がいたり

と一人ひとり、楽しんでおられました。

また演奏の途中でカーブの応援歌を全

員で熱唱し、カーブクライマックスシリ

ーズ進出に向けてエールを送るなど、若草療育園ディルームが大盛り上がり



## 第71号

平成27年12月25日発行

## 発 行

広島県立障害者

リハビリテーションセンター

若 草 園

若 草 療 育 園

東広島市西条町田口295-3

TEL (082) 425-1455

印 刷 所

ワークホーム聖恵

竹原市志海中町三丁目16番1号

TEL (0846) 26-1002



演奏を聴くのは、5回目でしたが、ヴィオラの音の美しさに利用者のみなさんはすぐに引き込まれていきました。曲目も秋にちなんだ、「もみじ」、「小ささい秋みつけた」や、よく知ついる、「さんぽ」、「上を向いて歩こう」など

の親しみやすい曲ばかりで、音楽に合

せて手や体を動かしたり、声をだしてみ

たり、うつとりと聴いている人がいたり

と一人ひとり、楽しんでおられました。

また演奏の途中でカーブの応援歌を全

員で熱唱し、カーブクライマックスシリ

ーズ進出に向けてエールを送るなど、若草療育園ディルームが大盛り上がり

しました。

普段はちょっぴり恥ずかしがり屋の園

児らもビエロの魔法にすっかり魅されて

楽しい時間を過ごす事ができました。

最後にビエロからバルーンアートのブ

レゼントをたくさんもらひ病棟中がバ

ルーンアートで華やかになりました。

## 「若草療育園の皆さんに支えられて」

若草療育園支援員　岡本昌子

大学を卒業して事業団に就職、若草療育園で勤務させていただいて一年半が経ちます。私は今まで重度の障害を持つ方と接したこと�이ありませんでした。最初に療育園の方々とお会いしたとき、「ここでもちゃんとやつていけるか」という不安な気持ちや、「どうやってコミュニケーションをとつたらいいのか」と戸惑いがありました。しかし毎日皆さんと関わっていく中で、特別なこだわりがある方、一生懸命お話をしてくれくださる方、甘え上手な方、テレビを見るのが好きな方、色々な方がいらっしゃるようになりました。そして「皆さんは決して病気ではなく、いつも元気で過ごしていて、この状態がこの方たちらしさなんだ」と考えるようになりました。

「岡本さん」と初めて利用者の方に名前を呼んでもらえたときの嬉しさはとても良く覚えていて、一年半が過ぎた今も自分の名前を呼んでもらえるだけが嬉しくなります。自分の行動や言

動に対して皆さんのが表情や身体の動きで応えてくださると、思わず誰かに伝えたりります。皆さんのが笑つてくださるとそれだけで私も笑顔になります。辛いことがあったときも、療育園に行つて皆さんの笑顔を見るとほつと安心したように心が和らきます。私の仕事は療育園の皆さんのが生きがいを見つけられるように支援することですが、私は皆さんの笑顔や姿に癒されてパワーを貰つて毎日頑張ることが出来ています。

コミュニケーションへの戸惑いは現在もよく感じています。「私の気持ちはちゃんと伝わっているのか、皆さんに伝えたいことを正しく受け止められているのか」とふと考え込むこともあります。



## 「Tボール大会連覇のつづり」

若草園支援員　岡本啓二郎

川療育園フェニックスとの対戦は二試合目。ブレッシャーをはねのけて6対3、堂々の勝利! 決勝戦、島根オロチレジンドを9対1で破つて連覇達成! ここ数ヶ月の緊張が一気に解けた瞬間でした。もうじ運が良かったなんて言わせない、完全優勝で大会は幕を閉じました。そんな先輩たちの活躍に小学生たちは「来年は僕らもTボール行きたい!」とせがむほど。若草園児はこのTボールで大きく成長している。そんな気がします。



「このままじゃ、岡山には勝てません。練習回数を増やしてください!」。

本番一か月前、昨年同様チームの柱として引っ張ってきた高校三年生、道下くんの訴えでした。昨年念願の優勝を果たしました。療育園の皆さんにとっても私はとっても、かけがえのない時間を過ごせることに感謝しながら、皆さんに過ごせることを楽しんでいます。今年は岡山チームとの対戦も決まっており、「岡山チームに勝つて優勝」がチームの合言葉でした。彼らは自分たちで考えてかなりハードな練習を重ね、我々職員はサポートに徹しました。大会当日、その岡山地

保護者の広場

## 「保護者としての想い」

私の子供も三歳から人所させて頂き、早十七年を迎えます。健康に生まれていれば、三歳といえど保育所等に通い始め言葉や運動能力も日に増し、かわいい（やんちゃ）盛りであろう。しかしわが子の幼少期は、入院・退院・リハビリの毎日。早期発見早期治療だから、遅れながらでも歩いたり、トイレや着替えも、いつかは出来る」と奮闘してはみたが、ちょっと前進したなと思った矢先に風邪をひき、またはじめから……。そんな時親としての考え方を変えなければいけない事に気付きました。親の責任として障害を持つ子とともに生きていく事も一つの考えだが、兄弟をつくってやる事も間違いではないのではないか？と考え三歳の子供と別れて生活する事がスタートしました。離れていると気になり面会に行くと、療育園スタッフが笑顔で迎えて下さつたり、同じ利用者の家族が笑つたり、のんびりと家族の時間を楽しんだり……。新しいものの発見と障害者のお親ができぬんびりしても大丈夫という雰囲気を浴びて帰宅する日が続きました。しかし心の中では、今年こそはお座りが出来るようになるのではないのか？と思いつつ……。小学校、中学、高校と進学するにつれてこれがわが子の個性だと思うと、また自分の中に違った考えが芽生えて来ま

何かの理由がある。そしてどんな人の出会いも無駄ではない。大きな財産なのだ」と……。命の輝き、笑顔の魅力、自分との戦い、新たな発見による喜び、ペットごと移動しての卒業式（祝辞を言った後に利用者の様子を気にする園長）。毎日殺人事件がニュースで報道されているのと真逆の世界が利用者を取り巻く若草療育園には広がる。わが子にとては、家族より友達や施設職員と過ごす時間が長く、入所者が自分の場所・空間の中で堂々と過ごしているようにも感じています。言葉を発することは苦手だが、光のまぶしさ、肌を感じる風や仲間と一緒に生活することの心地良さ、そして職員のぬくもり。若草療育園に入園させて頂いて感謝と勉強の毎日です。

保護者 今井伯夫

今井伯夫

ボランティア紹介（7月～11月 敬称略）

若草園・若草藤有園の行事への参加、個別支援や入園児童への関わり、学習指導や縁い物などに多くのボランティアの方々に継続して来て下さり、日々の生活に潤いと刺激をいただき本当にありがとうございます。これからも官宣くお願い致します。



9月30日 秋の遠足（保育）



10月1日～2日 修学旅行（若草園）



11月26日 クッキング（保育）



10月21日 成人日帰り旅行（若草療育園）

## 行 事 だ よ り

1月	2月	3月
1月6日 誕生会	2月1日 輪の会	3月7日 輸の会
1月8日 面会日	2月7日 面会日 節分会	3月11日 卒業式
1月17日 面会日	2月12日 誕生会	3月13日 面会日
1月24日 成人・運転を祝う会	2月14日 面会日（療育園）	3月17日 作品展・お楽しみ会 (療育園)
1月29日 学校懇談日	2月19日 保護者会研修	3月18日 保育終了式
1月31日 節分会（療育園）	2月28日 ひなまつり会（療育園）	3月19日 終了式
3月6日 誕生会	3月4日 面会日	3月10日 面会日
（若草園）	（若草園）	（若草園）

## 行 事 予 定 1月～3月

## 編 集 後 記

今年最後の「わかくさ」が無事、発行されることになりました。広報誌の担当をして三年目。これまで関わってきた「わかくさ」を振りかえってみると、あらためて月日の流れの速さと、たくさんの方々の協力によってつくられていることを感じずにはいられません。また来年も変わらず「わかくさ」が発行できるよう頑張ります。

そうそう、来年は年男。サルのように好奇心旺盛で行動的な大人を目指そかな。みなさま、良いお年を！（K）